

政策討論会

政策討論会は、常任委員会が作成した政策提言の案についての議論を通じて、政策提言の内容の妥当性や説得力を高めるとともに、議員間で議論を深めて共通認識を図るものです。各常任委員会から提出された4つの政策提言の案について2月27日に政策討論会を開催しました。今回は全ての案について全議員の合意が得られたことから、政策討論会での指摘部分を修正し、3月24日に政策提言書として市長に提出しました。

政策提言は、市の政策水準の向上を目的として、常任委員会が所管する事務のうち大きな課題と捉えた政策課題について、2年間の委員の任期のなかで、定例の委員会や各種市民意見交換会、先進地への行政視察、専門的知見を活用する参考人招致など、様々な調査研究活動を行った成果をとりまとめたものです。

政策討論会はホームページから



政策提言 総務環境委員会

「山岳観光施設等における環境配慮型トイレについて」

● 政策提言の発生源は・・・（背景）

世界を魅了し続ける国際観光都市飛騨高山の実現のためには、登山者に対し基本的なマナーや山岳遭難防止の徹底を啓発するとともに、環境を基軸とした山岳観光を進めることが重要である。このことは、SDGsへの貢献、循環型社会の構築にもつながるものである。

そのためには、まずは山岳等における環境配慮型トイレの導入・促進を図ることが有効と考える。

しかしながら、設備の導入及び維持管理等においてさまざまな課題があり、山岳地等の自然地域においてはインフラ整備がされていない。

● 求められる姿は・・・（目的）

「自然環境の保全」と「観光振興におけるトイレの充実」の両立に着目し、山岳観光施設等における環境配慮型トイレの普及を促進することによって、世界を魅了し続ける国際観光都市飛騨高山の実現や雄大な自然を有する高山市の観光振興の推進、SDGsへの貢献、循環型社会の構築などにつなげていくことが求められる。

● 行政は何をすべきか（基本的方向）

- ① 山岳観光施設の高度化・上質化を図るため、環境配慮型トイレの義務付けを国に働きかけるとともに、環境配慮型トイレの維持管理及び再整備に係る補助要件の緩和を強く国・県に働きかけること
- ② 環境配慮型トイレの普及や維持管理体制の整備に向け、県とともにトイレの利用実態や課題を把握するとともに、環境配慮型トイレの技術向上に向けたデータ等を収集し、事業者へ提供すること
- ③ テント場での環境配慮型トイレの導入や再整備などに対する支援策を講じること

● 主な調査活動

- 環境配慮型トイレ設置施設への視察
- 五色ヶ原の森案内人の会、乗鞍観光協議会、山小屋友交會、道の駅ひだ朝日村、胡桃島キャンプ場、御嶽鈴蘭高原観光開発(株)との意見交換



政策提言 福祉文教委員会

「子どもの権利に関する条例(仮称)の制定について」

● 政策提言の発生源は・・・（背景）

少子化を大きな要因として人口減少が進む中で、一人ひとりの子どもの育ちを支えることは重要な課題となっている。多様化する社会の変容に加え、コロナ禍による活動の自粛や制限、経済活動の停滞は子どもの育ちにも大きな影響を及ぼしている。また、児童虐待やいじめ問題、貧困問題はさらに深刻化している。

● 求められる姿は・・・（目的）

児童虐待やいじめ問題、不登校が増加傾向にある中で、コロナ禍の影響によって貧困問題も課題となっており、子どもを取り巻く環境は大きく変化している。子どもの人権が侵害される事案の発生が懸念される中で、支援を必要とする家庭も増加傾向にあると考えられる。子どもの人権を重視するとともに、子どもの尊厳を社会全体で確立することが望まれる。

● 行政は何をすべきか（基本的方向）

- ① 子どもに関する施策を包括し、それぞれの取組を体系化することで、子育てに対する姿勢を明確化する。